

事業所名 児童デイサービス・アニマートつかぐち

支援プログラム（参考様式）

作成日 令和7年 2月 14日

法人（事業所）理念	「元気に！いきいきと！」をテーマに、「遊び」を通して、精神的、身体的機能を最大限に伸ばし、将来社会的自立が出来るようになることを目標とした一人ひとりの発達段階に合った内容を考え、身近の自立、運動、認知、言葉、社会性など、自立を目指した生活習慣の獲得を目指します。					
支援方針	「元気に！いきいきと！」を合言葉に、子どもたちが「遊び」を通じて色々なことに興味を持ち、「やってみたい！」の気持ちになり様々なことを経験することで「できた！」を感じながら成功体験を積み重ねる。そしてその経験が自信につながるよう一人ひとりに合った支援を心がけております。また、多機能ならではの異年齢の交流も大切にしております。そして子どもたちが、好きなこと、楽しいことを見つけ、穏やかに過ごせる、ほっと出来る場所として事業所を利用していただけることが大切と考えております。					
営業時間	平日 休校日	11 9 時	00 00 分から 19 17 時	00 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	来所してから流れ(下駄箱に靴を揃えて入れる・荷物を自分のカゴに入れ、連絡帳の提出・手洗いうがい・宿題や個別課題・自由遊びなど)が着くような支援を行っています。一人ひとりの課題(トイレや食事、衣服の着脱など)では、職員が個別にて対応しています。				
	運動・感覚	子どもたちが楽しみながらスモールステップで自然に運動能力を身に付け、達成感や意欲を育んでいくような遊びを積極的に取り入れています。微細運動…壁面製作、季節ごとの製作、折り紙、色分け作業等一人ひとりの内容で支援しています。				
	認知・行動	天気のいい日は公園に出かけ、室内では難しい運動遊びを楽しんでもらっています。予め時間設定をし、見通しのつきやすい状況を作って、切り替えが上手に出来るよう工夫しています。宿題や個別課題は学習コーナーやパーテーションの使用にて落ち着いて過ごせる環境作りを意識しています。				
	言語 コミュニケーション	普段から日直の当番を決め、『いただきます。』『さようなら』の挨拶をしてもらうなど役割を意識してもらっています挨拶が習慣になるように、あいさつの言葉をイラストで提示し、意識してもらっています。分からない時や困った時のSOSの出し方を一人ひとりに合った方法で支援しています。				
	人間関係 社会性	職員が間に入りながら、お友達との関わり方を伝えていきます。遊びの中でのおもちゃや場所の貸し借り、遊びのルールなどを伝えていきます。お友達が困っていたら、自分から助けやお手伝いを出来るように、逆に自分が助けてほしい時には周りにSOSが出せるように、場面場面にて伝えていきます。順番を待つ、お金を使うなど室内だけではなく、外でも経験できる場を作っていきます。				
家族支援	連絡帳や送迎時に利用中の様子を伝えたり、ご家庭や学校での様子もお聞きし、情報の共有をしていきます。	移行支援	必要に応じて、学校や他事業所と連携し支援内容や支援方法を共有していきます。			
地域支援・地域連携	必要に応じて関係機関との連携を図り、情報を共有していきます。「買い物体験」や「公共施設の利用」を通して地域の方々との交流を図ります。	職員の質の向上	外部研修への参加や内部研修を行い、支援方法等を検討、改善を行いながら職員の質を高めていきます。			
主な行事等	季節や行事を感じられるプログラムを用意しております。進級・入学・卒業、七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、お正月、節分、ひな祭り等）祝日や長期休み期間中は地域交流を図れるようなお出かけイベントを企画しております。					